

【人権・交流教育部】PTA との共催で人権研修 講演会を開催しました。

9月の第1回人権研修に引き続きまして、12月13日、PTA成人教育・保健委員会の皆様のご協力のもと、特定非営利活動法人SHIP にじいろキャビン代表の星野氏をお招きし、「性の多様性を認め 自分らしく生きられる社会づくり」をテーマに講演をしていただきました。「セクシュアリティは個人の人格や尊厳に関わる重要な要素」「性は多様で人それぞれ違うもの」「性的マイノリティの方は、20人に1人いる。みなさんの身近に居る。居ないのではなく、言えないのです。」「性別で決めつけしないで性別を意識せずに自由に選べる環境に」等、多くのことを教えていただきました。

また、同性愛者への差別的な見方、メディアでの笑いとして取り上げられてきたことなども、時代とともに少しずつ変わってきました。それは、歴史的にオリンピックの開催と共に、オリンピック憲章に性別や性的指向によっていかなる差別も受けないということが追加されたことで、世界の動きが大きく変わってきたことが分かりました。星野さんの言葉の中で、「人にはそれぞれもって生まれた能力やその人らしさがあります。誰もが過ごしやすい環境が、その人の成長になります。」という言葉が心に残りました。

